

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 美術作品のよさや面白さを感じ取ることができる。

思考力、判断力の育成

- ◇ 学年 第3学年
- ◇ 題材名 すてきだね！ さゆめさんの人形たち
- ◇ 本時の目標 奥田小由女さんの作品の形や色などの造形的な特徴をとらえながら、友人と話し合うことで作品のよさや面白さを感じ取る。
- ◇ 学習の流れ (2時間目/全6時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 前時の学習を振り返る。 2 本時の目標を確認する。	◇奥田小由女さんの作品の図案に色鉛筆で着色した活動を振り返らせ、鑑賞への意欲を高める。 さゆめさんの作品をみて、すてきなところを見つけよう。	
3 「森のシンフォニー」を鑑賞する。(題は隠しておく) ○ 何をみつけましたか。 ・花がたくさんあります。 ・人と鳥がなかよしです。 ・やさしそうな表情です。 ・この作品をみていると、優しい気持ちになるよ。 ・題は「森となかよし」がいいと思います。	◇児童の発言を関連付けたり、構成したりして「みえたこと」から「感じたこと」「考えたこと」へと、見方を深めさせていく。 ◇どの鑑賞の場面でも、児童の意欲を高める言葉がけを行う。 【児童の意欲を高める言葉がけ】 「服にも花があるね。」 「鳥は人がこわくないのかな。」 「この人たちは、どんな関係かな。」 「この作品に題をつけてみよう。」	児童の発言を事実と感じたこと、考えたことに分けて示しましょう。 ★児童が自分で見つけたよさや面白さを児童自身から気付くようにします。
4 「月の別れ」を鑑賞する。 ○ 何をみつけましたか。 ・うでが6本あるよ。 ・この作品だけ服が白いね。 ・頭の後ろにあるのが月かな。 ・表情が少し悲しそうだね。	【児童の意欲を高める言葉がけ】 「手の動きをやってみよう。」 「白い服を着るのはどんな時かな。」 「だれかと別れたから悲しいのかもしれないね。」	根拠を明らかにしながら話し合わせましょう。 ★ワークシートを用いて自分の考えを明確にした上で友人と話し合うことにより、一人一人の見方や感じ方が深まります。
5 自分のお気に入りの作品を見付ける。 ○ お気に入りの作品はどれですか。 ・私は「創生」が好きです。女の子の人魚がかわいいのと、女の子の赤い服と青い帯の色がとてもきれいだからです。	◇見つけたことをペアで話し合わせる。 ◇学芸員さんから作品の背景や作者などについて話しを聞く。 ◇作品を気に入った理由をワークシートに書かせる。それを個別に評価してから一人ずつ発表させる。 ◆友人のワークシートをみて参考にしてもよいことを伝える。	・作品の表現の工夫、形や色など造形的な特徴をとらえながら、よさや面白さを感じ取っている。 〔鑑賞の能力〕 (観察, 対話, ワークシート)
6 本時の学習を振り返る。	◇振り返りカードに自己評価させる。	

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 伝えたいイメージを他者に分かりやすく美しく表現する方法を考
えることができる。

思考力、判断
力、表現力の
育成

- ◇ 学年 第1学年
- ◇ 題材名 イメージを伝える文字のデザイン ～私を表すロゴマーク～
- ◇ 本時の目標 見る人の気持ちを考えながら、名前のイメージについて分かりやすく美しく表現するための構想を練る。
- ◇ 学習の流れ (1時間目/全5時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。	見る人の気持ちを考えながら、名前のイメージを分かりやすく美しく表現する方法を考える。	
2 身近な視覚伝達デザイン作品を鑑賞する。 ○ 作品からとらえたイメージを造形的な要素を視点に、分析する。	◇個人で造形的な要素(形や色彩など)を視点に、ワークシートを使って分析させる。 ◇書体や配色などが異なる作品を提示し、形や色彩などの工夫によってイメージの伝わり方が変わること気付かせる。	造形的な要素を視点に、分析させましょう。 ★グループで話し合う際には、共通の視点について生徒に理解させておく必要があります。
3 グループで伝えたいイメージを表現する方法について考える。 ○ 個人で調べたことを発表し、相違点や共通点をグループで話し合う。	◇グループでの話し合いが終了したらそれぞれのグループで話し合ったことを発表させ、他者の考え方や感じ方を共有させる。	
4 「私を表すロゴマーク」をスケッチに表したものをグループで批評し合う。	◇スケッチの周りに作品イメージについての自分の考えを書いた付箋紙を貼らせ、イメージと表現方法についてグループ内で説明させる。 ◆考えがまとまりにくい場合には、造形的な要素を視点に、付箋紙に書くよう伝える。 ◇スケッチからどのようなイメージをとらえたか、伝えたいイメージを分かりやすく美しく表現するためにどんな方法が考えられるか、交流させる。 ◇単なる批評ではなく、伝えたいイメージに近づき、よりよい作品にするための方法を具体的に示すよう促す。	視点を示して、批評し合わせましょう。 ★グループで批評し合うことにより、デザインの分かりやすさや美しさについて、見方を広げることができます。
5 見る人の気持ちを考えながら、伝えたいイメージを分かりやすく美しく表現する方法についてまとめる。 ○ 個人でワークシートに整理するとともに、スケッチにも表す。	◇他者からのアドバイスを参考にしながら、形や色の組合せ、用具の生かし方などについて構想をまとめさせる。 ◇見る人の気持ちを考えて表現することは、自分が表したいイメージを思いのままに自由に表現することではないことを伝える。	・見る人の気持ちを考えながら、名前のイメージを分かりやすく美しく表現するための構想を練っている。 〔発想・構想の能力〕 (観察、ワークシート)
6 学習を振り返る。	◇本時の目標の達成状況について自己評価させる。 ◇伝えたいイメージを表現するための方法を確認させ、自分のデザインに生かしていくことを意識させる。	

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 美術作品の主題や表現方法から作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化についての理解を深めることができる。

思考力、判断力の育成

- ◇ 学年 第1学年
- ◇ 題材名 絵巻の秘密を探る ～鑑賞～
- ◇ 本時の目標 絵巻の主題、表現方法からよさや美しさを感じ取り、美術文化についての理解を深める。
- ◇ 学習の流れ（2時間目／全2時間）

学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）
<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p> <p>3 個人で「鳥獣人物戯画」について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの「吹き出し」の部分の台詞を考える。 ・なぜ漫画のルーツと言われるのか ・なぜ日本四大絵巻と言われるのか（表現の特徴から考える） ・何のために描かれたのか 	<p>◇浮世絵、掛け軸、絵巻などの美術作品を鑑賞したことを振り返らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「鳥獣人物戯画」の主題や表現方法から作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化についての理解を深める。</p> </div> <p>◇作品に描かれている動物の様子や背景を観察させ、物語を考えさせる。</p> <p>◇模写（一部）を見せ、できるだけ実物に近い形で鑑賞させる。</p> <p>◇他の絵巻と比較しながら鑑賞させる。</p> <p>◇多くの絵巻には詞書があることや、着彩されたものもあることを伝える。</p> <p>◆表現の特徴に気付きにくい場合には、現代の漫画からスピード・残像の表現、異時同図の表現、声の流線表現に当たる部分を示す。</p>	<p>美術作品の主題や表現方法の特徴などを理解させるために、他の作品と比較検討させましょう。</p> <p>★作品の相違や共通点などから作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化に関する理解を深めることができます。</p>
<p>4 個人で調べたことをグループで発表し、相違や共通性の側面からグループで話し合う。</p> <p>5 伝統的、創造的な側面から話し合い、グループごとに全体で発表する。</p>	<p>◇新たに感じたこと、考えたことをワークシートに記入させる。</p> <p>◇全貌を見ながら話し合いができるように、鳥獣人物戯画（甲巻）の縮小版をつくり、グループごとに配布する。</p> <p>◇作品を現代の視点から鑑賞し、伝統的、創造的な側面について話し合い、新たに感じたことや考えたことをグループごとにまとめさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【伝統的、創造的な側面の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本独自の美意識 ・自然観 ・その時代の創造的な精神 ・美を求める心情 ・創作への知恵 </div> <p>◇グループでの話し合いが終了したらそれぞれのグループで話し合ったことを全体で発表させ、他者の考え方や感じ方を共有させる。</p>	<p>共通の視点を設定した上で、グループで話し合わせましょう。</p> <p>★他者との意見の交流を通して、新しい見方や感じ方、考え方を深めることができます。</p>
<p>6 美術文化について自分の考えを整理する。</p>	<p>◇個人でグループでの話し合いなどの内容を基に美術文化について自分の考えを整理させ、ワークシートにまとめさせる。</p>	<p>・鳥獣人物戯画の主題や表現方法から作品のよさや美しさを感じ取り、美術文化についての理解を深めている。</p> <p>〔鑑賞の能力〕 （ワークシート）</p>